

2018年9月20日

課題名：日本集中治療医学会データベースおよびDPCデータを用いた
診療の質指標測定検証研究

◆研究の目的と概要◆

本研究は、当院が既に利用している既存の患者データベースを用いて、①集中治療室で行われている診療の質が測定可能であるかどうかについて検証すること。②測定した診療の質と、患者さんのアウトカム（死亡や合併症の発生など）との関連を調べることを目的としています。集中治療室の診療の質を明らかにすることで、我々は日々の診療を振り返ることができ、より良い診療が出来るようになる可能性があります。

◆対象となる患者さん◆

2017年4月1日から2018年3月31日までの間に、当院救急ICUに入室された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、入院日、退院日、入室日時、退室日時、人工呼吸器開始・終了日時、病名テキスト、病名コード、APACHE II スコアと関連するデータ（バイタルデータ、血液検査データ）、退室時転帰、退院時転帰、病名、ICD-10 コード、手術日、手術点数表、身長、体重等、入院日診断群分類番号、レセプト電算処理コード、人工呼吸管理、実施年月日、検査実施日、入院中に施行された検査結果、ICU 死亡、院内死亡、人工呼吸器装着、人工呼吸器離脱日数、ICU 滞在日数、ICU 再入室

◆研究方法◆

上記診療の質指標を、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、下記機関に対して電子的配信で提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

堺市立総合医療センター集中治療科の熊澤淳史医師が主体となって実施しており、全国8施設が参加しています。

主体のホームページ

<http://www.sakai-city-hospital.jp/medical/center/emergency.php>

共同研究施設

氏名 岡本洋史 所属 倉敷中央病院 集中治療科

氏名 櫻谷正明 所属 JA 広島総合病院 救急・集中治療科

氏名	田嶋淳哉	所属	横浜市立みなと赤十字病院 集中治療部
氏名	中山泉	所属	沖縄県立中部病院 集中治療部
氏名	松岡由典	所属	京都大学大学院医学研究科 医療疫学分野
氏名	浅賀健彦	所属	香川大学医学部附属病院 集中治療部
氏名	恒光健史	所属	兵庫県立尼崎総合医療センター 救急集中治療科

- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

集中治療科 研究責任者 岡本洋史

E-mail: kenkyu★chnet.or.jp (臨床研究センター)(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明